

大規模な輸送障害の対応に 尽力された全ての皆さん 大変お疲れさまでした

昨日（2021年6月20日）、渋谷付近にある変電所の設備故障（原因調査中）によって、東京圏のJR東日本路線網に甚大な被害が発生し、大規模な輸送障害が発生しました。先日（2021年6月18日）には、田端操車場付近での信号設備故障による輸送障害が発生したばかりです。

鉄道は、公共交通機関であり、社会生活・ライフラインの維持に欠かすことの出来ない業職種であることが、コロナ禍において鮮明になりました。また、公共サービスとしての性質の強い鉄道は、安全に安定した輸送が必要とされています。

JR東日本・グループ会社で働く私たちは、働く者や利用する人々をはじめとした「全ての“いのち、を守る”ため、日頃から技術・技能の向上に努め、日々の経験によって得る「知見に基づく“気付き、”を大切にしなければなりません。誰もが「安全に、安心して、快適に利用できる鉄道」を実現するためにも、鉄道業に欠かすことの出来ない“経験労働、と“熟練労働、を重んじ、異常時における対応力を向上させる人材育成が必要不可欠です。

先日（2021年6月16日）、米坂線の手ノ子・羽前沼沢間において、知識不足と確認不足に起因し、列車とレールスターが衝撃する事故が発生しています。

JR東日本は、知識や経験の不足に起因する事故・事象を断ち、異常時における迅速且つ適切な対応を行える“現場力、を高めるために、今一度、人材育成に重きをおくべきです。

誰もが安全に、安心して、快適に、
利用でき、働ける鉄道を実現するために、
今こそ、輸送サービス労組へ結集しよう！